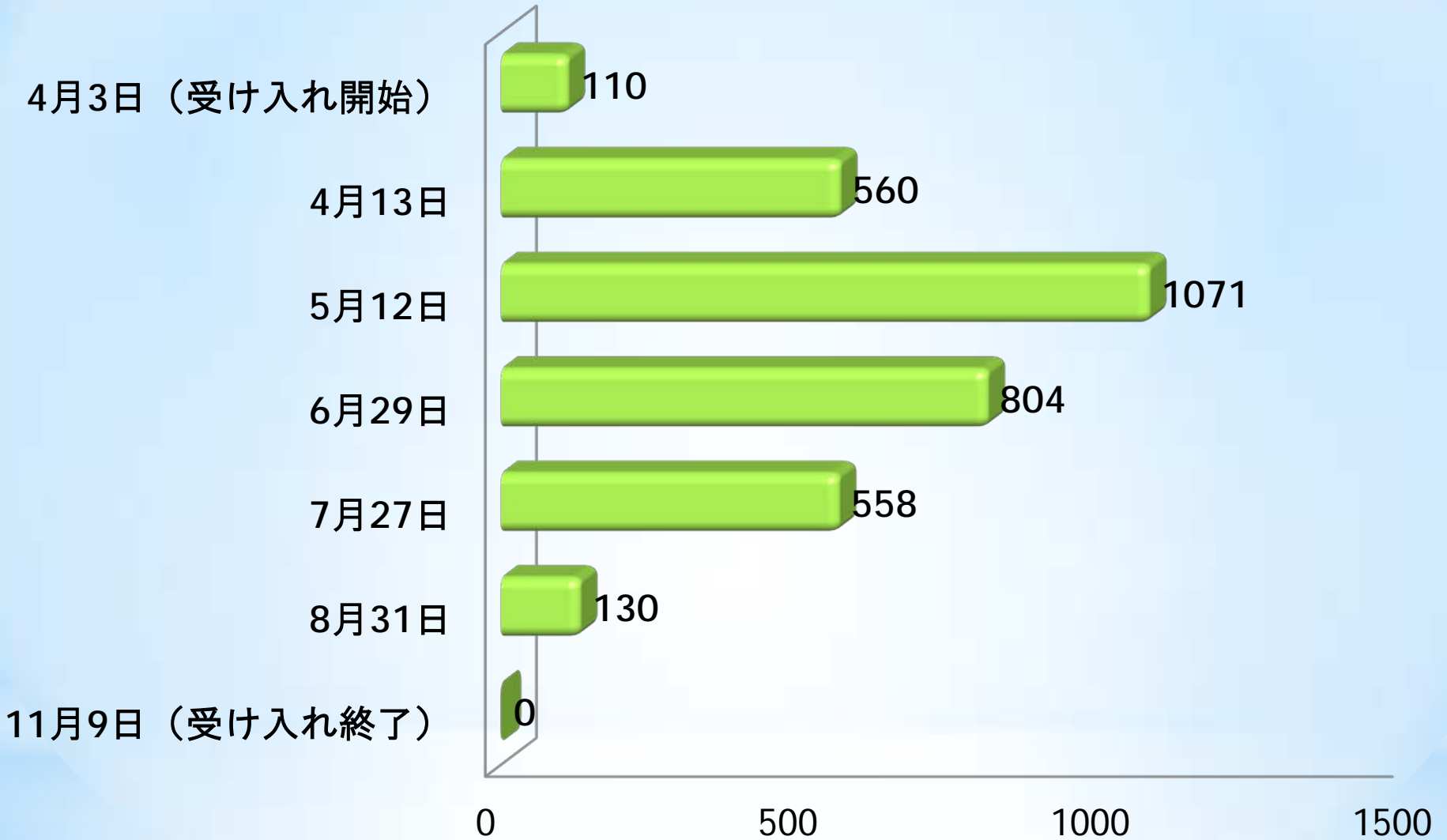
An aerial photograph of a town built on a hillside. The town features a mix of residential houses and larger commercial or institutional buildings. A river flows through the valley below the town, and the surrounding landscape is lush and green. The sky is clear and blue.

福祉避難所における生活不活発病予防・改善支援について
～災害時保健活動との連携～

北部保健福祉事務所 健康づくり支援班
○川村 謙吉 中村 恵美 三浦 ひかり

福祉避難所における避難者数の経緯



避難者出身地域；南三陸町，女川町，石巻市，東松島市，気仙沼市

福祉避難所受け入れ支援

4月

市から健康一次調査協力依頼

市・県保健師による健康一次調査実施

- ①健康状態の確認
- ②要支援者の把握



支援が必要な方を抽出

福祉避難所支援スタッフ；
非常勤職員（看護師・保健師）
ボランティア保健師



福祉避難所巡回相談開始

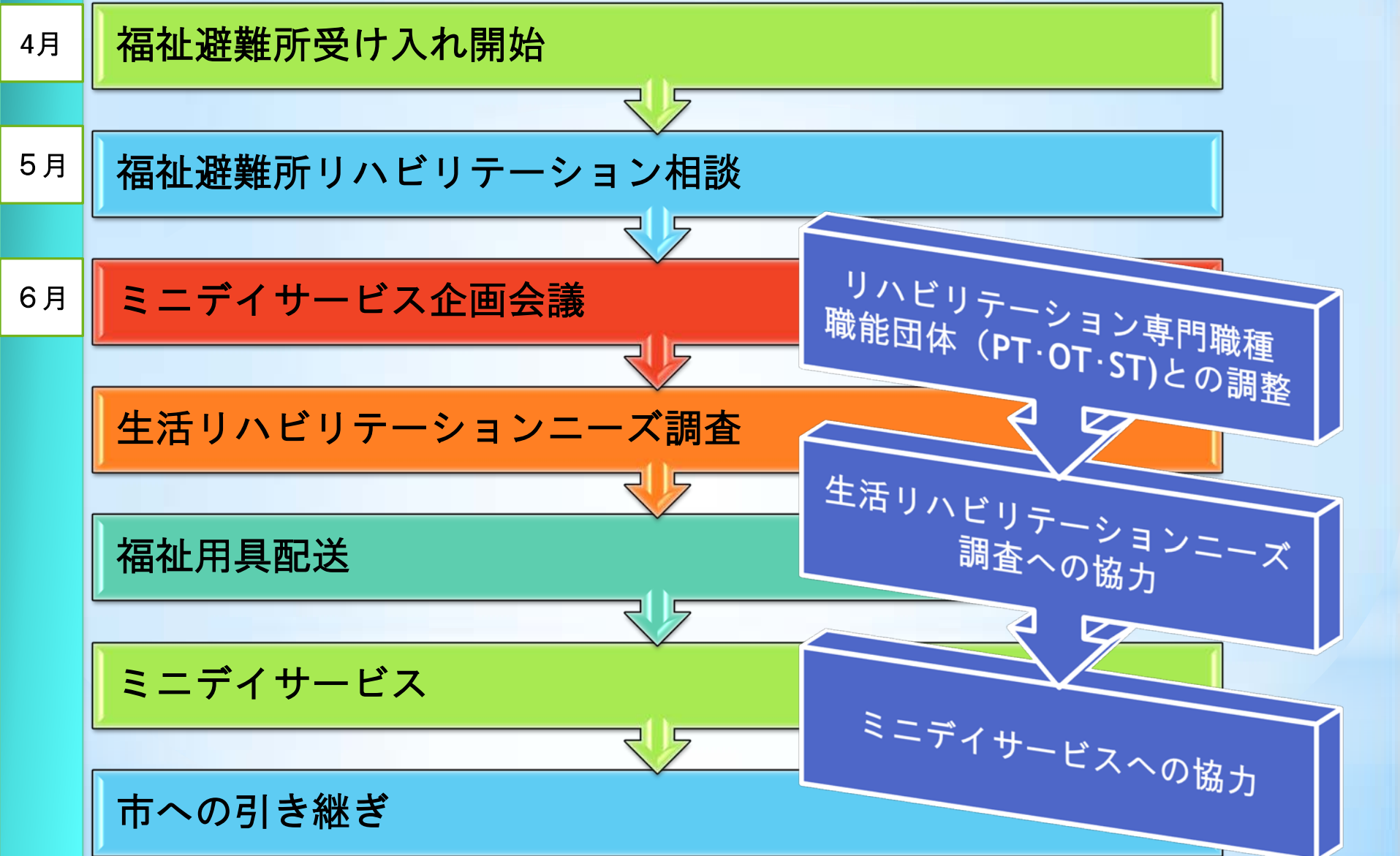
所の方針

「市が主体的に避難所運営，支援するための支援」

所の支援

- ①要支援者に対する施設入所調整
- ②感染症対策支援

福祉避難所におけるリハビリテーション専門職種支援の経緯



福祉避難所リハビリテーション相談

市から依頼（FAX）

福祉避難所リハビリ
テーション相談

市へ結果報告

- 実施件数；10件（実・延べ数10名）
- 実施期間；4～5月
- 支援内容；
 - ①ADL支援に関すること 9件
 - ②福祉用具の調整に関すること 5件
 - ③生活不活発病，エコノミークラス症候群に関すること 2件 等
- 市への配慮；相談依頼の簡略化

支援例



温泉旅館における要支援者の自立生活支援



市と協働の転機

市と顔の見える関係となるように、電話連絡したり、相談結果は直接担当保健師に手渡すなどを心掛けた。



市の担当者とのやりとり

「部屋に引き困っていたり、転倒しやすい高齢者が結構多いですよ。介護予防的な支援が必要ですよね」

「今度ミニデイサービスを企画しているの。」

「ぜひ協力したいんですが・・・」

「企画会議があるから出席してみます？」

「ぜひお願いします。」


「保健所で、避難所全体の生活リハニーズ調査をやってみたいのですが・・・」

「保健所だけでやるなら構いませんよ」

市との企画打ち合わせ

市の事業企画案

目 的； 介護予防的支援
スタッフ； 市看護師， 保健師
社協ボランティア等
内 容； メインテーマ
6月⇒映写会
7月⇒こけし作り
8月⇒レクリエーション
その他； 軽体操， 脳トレゲーム，
健康相談（午後希望者）



転倒予防の
緊急性を提案



6月メインテーマ
⇒**転倒予防**

生活リハビリテーションニーズ調査に移行

温泉旅館での
転倒リスク

部屋に
閉じこもり気味

人と話す機会,
外出機会がない

気になる高齢者

要支援者以外は？

温泉全体の把握

生活リハビリテーションニーズ調査
の実施

生活リハビリテーションニーズ調査

目的；福祉避難所生活不活発病リスクの把握

対象；福祉避難所62施設1070名中, 70歳以上および要支援者がいる39施設430名

方法；各部屋巡回し生活リハビリテーションニーズ調査表により聞き取り調査を実施

実施者；病院PT・OTボランティア, 事務所リハビリテーション専門職 (実10名/延べ22名)

調査

ニーズ把握

支援

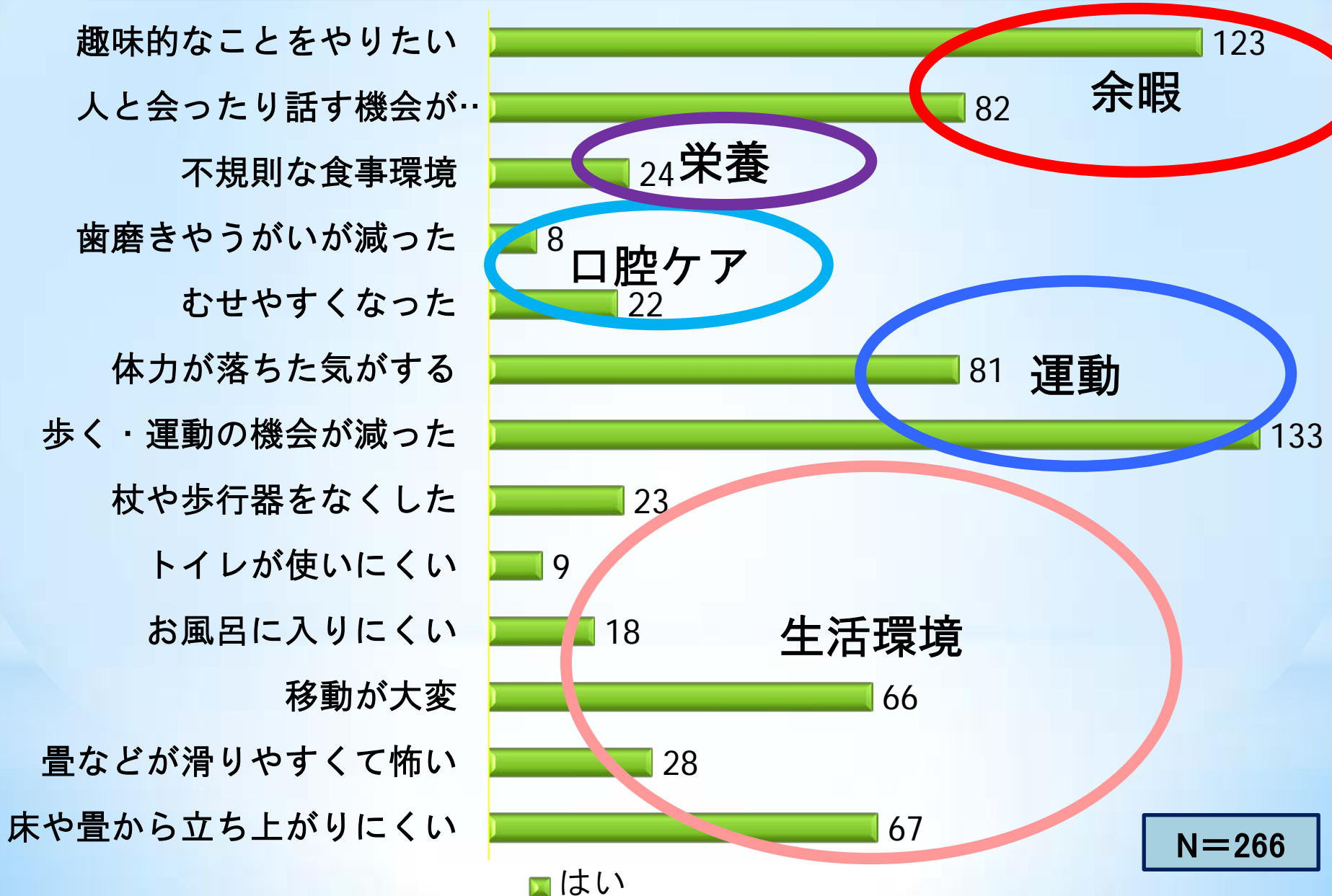
生活リハビリテーションニーズ調査項目



生活リハビリテーションニーズ調査様式

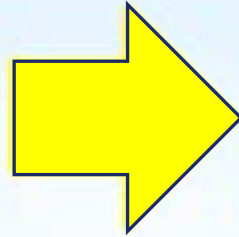
分類	質問項目	回答	特記事項 (指導内容)
環境調整	1 床や畳から立ち上がりにくくなった	(はい いいえ)	
	2 畳や廊下などが滑りやすく怖い	(はい いいえ)	
	3 移動が大変である	(はい いいえ)	
	4 旅館のお風呂に入りにくい (滑って怖い, 浴槽に入れられないなど)	(はい いいえ)	
	5 旅館のトイレが使いにくい (便座にうまく座れないなど)	(はい いいえ)	
	6 杖や歩行器をなくしてしまった	(はい いいえ)	
運動	7 歩く機会や運動の機会がかなり減っている	(はい いいえ)	
	8 最近体力が落ちているような気がする	(はい いいえ)	
口腔ケア	9 食べたり飲んだりするときにむせやすくなった。うまくかめない。	(はい いいえ)	
	10 歯磨きやうがいが減っている	(はい いいえ)	
栄養	11 不規則な食事環境である (偏食, 間食など)	(はい いいえ)	
余暇	12 人と会ったり, 話したりする機会が減っている	(はい いいえ)	
	13 何か趣味的なことをやりたい	(はい いいえ)	

生活リハビリテーションニーズ調査結果



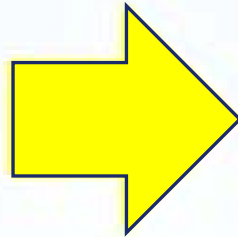
支援内容

生活環境



福祉用具配送
ミニデイサービス
福祉避難所リハビリ
テーション相談

余暇

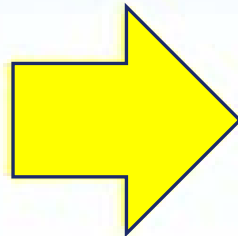


ミニデイサービス

運動

栄養

口腔ケア



早急な支援不要

調査を受けての事業企画

ミニデイサービスの目標

○市が主体的に、転倒予防、閉じこもり予防に取り組んでいける体制を支援すること。

その方法として

- ①調査結果の報告⇒課題の共有
- ②引き継ぎ⇒市スタッフだけでもできる体制

その他、県単独で福祉用具配送を行う。
個別支援＋集団支援で効果的な支援とする。

ハイリスク者の抽出

N=266

人と会う・話す機会
が減った

+

趣味的なことをやりたい
歩く・運動の機会が減った
体力が落ちた
どれか一つでも選んだ方

閉じこもりリスク
介護予防(集団支援)
の必要性がある方
77名

歩く・運動機会が
減った

+

立ち上がりにくい
移動が大変
滑りやすい
どれか一つでも選んだ方

転倒リスク
介護予防(運動器支援)
の必要性がある方
68名

ハイリスク者に対する支援

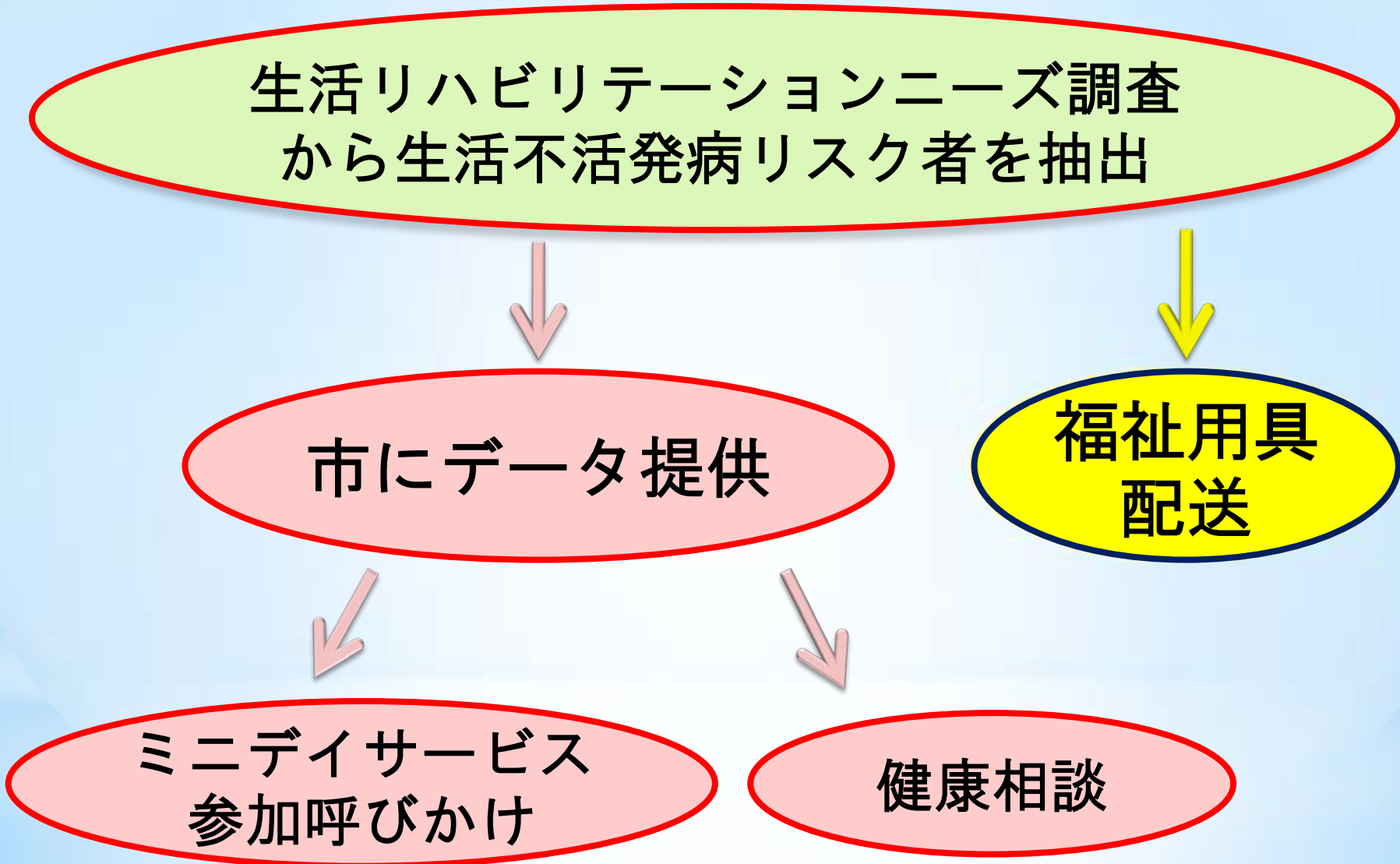
生活リハビリテーションニーズ調査
から生活不活発病リスク者を抽出

市にデータ提供

福祉用具
配送

ミニデイサービス
参加呼びかけ

健康相談



福祉用具配送



- ①リハシューズ 13件
- ②T字杖 10件
- ③シルバーカー 3件 等



ミニデイサービス概要

- 支援内容；転倒予防に関する講義及び実技
- 支援期間；6月（全18回）
- 支援回数；9回
- 実施場所；食堂等（周辺旅館集約して開催）
- 支援者数；延べ/112名（11名～23名/回）
- 支援スタッフ；看護師（リーダー）ボランティア等
- 県；講義（転倒予防の話）＆「予防体操」



ミニデイサービス 支援ポイント

市が
主体的

- ・市事業で転倒
予防を継続支
援する

市スタッフ
が主体的

- ・スタッフで講
義・実技がで
きる

住民が
主体的

- ・自発的に環境
調整，単体
操へ

市への引き継ぎ

- 生活不活発病予防の必要性を理解。
- ミニデイサービススタッフは、リハビリテーション専門職がいなくても、転倒予防の講義と体操を実施。

市との最終打ち合わせ

「県は6月で支援を終了します。」

「転倒予防支援は7月以降も継続した方がいいですよ。生活不活発病リストの方には、ミニデイサービスへの参加を働きかけてみます。午後の巡回健康相談でも声をかけてみます。」

⇒8月まで、市でミニデイサービス実施

考察：生活不活発病について

○生活不活発病の概念および予防の必要性が十分浸透していない。

○生活不活発病の把握が難しい。



○生活不活発病の概念および予防の啓発が必要である。

○健康調査等において，生活不活発病リスクを把握する項目が必要である。

考察：県の役割について

- 生活リハビリテーションニーズ調査による課題の抽出
- 課題共有および支援方法の提案
- 市との協働（個別・集団支援）
- 事業継続のための配慮



市の災害時保健活動を拡充

まとめ

- 福祉避難所では，要支援者以外の高齢者にも生活不活発病リスクが多くみられた。
- 市と協働し，個別・集団支援による生活不活発病予防支援を実施した。
- 市の災害時保健活動の拡充につなげることができた。

ご静聴ありがとうございました

